

いちしょうとしょかん

一小図書館だより



R4.5.6発行 第1号

やわらかな緑が美しい季節になりました。
みなさんの笑顔から、新しいクラスに慣れ、元気に過ごしている様子が分かります。
今年度も、たくさんのお気に入りの本と出会えるといいですね。

読書って楽しいな…！

今まで知らなかったたくさんの言葉を覚えるよ
ワクワクしたり、ドキドキしたりして、心がいっぱい動くよ
話したり書いたりするのが上手になるよ
考えることが得意になるよ
楽しいと思えることが増えるよ



本を読むといいことがいっぱい！たくさんの本を読んでくださいね。

みんなでもらおう！読書賞



読書賞について

- | | |
|-------|--|
| 50冊賞 | 年間150冊の本を読むともらえます。3年生までは学校から、4年生以上は茨城県教育長から賞状がもらえます。 |
| 100冊賞 | 1年間に100冊の本を読むともらえます。その後、50冊ごとに賞がもらえます。 |
| 300冊賞 | 4年生からの読書数の合計が300冊になると、茨城県知事から賞状がもらえます。 |

※みんなにすすめたい一冊の本推進事業について

4年生、5年生、6年生を対象に茨城県が行っている読書推進事業です。
読書によって豊かな人間性や国語力を育成するために取り組んでいます。



茨城県優良図書のご案内



茨城県では、毎年、みなさんにぜひ読んでほしい本を紹介しています。
昨年度、小学生向けに選ばれた本（28冊）の中から何冊か紹介します。

本のフロがおすすめする茨城県優良図書

茨城県優良図書サイトより

【低学年向け】

「かしたつもり×もらったつもり」----- かさいまり 作 北村裕花 絵（くもん出版）
れんの大切なきょうりゅう図かん。れんはだいちにかしたつもり。だいはれんからもらったつもり。
おたがいにかんちがいをしたまま…。このままではたいへん。二人はどうなってしまうのかな。

「ぼくはおじいちゃんのおにいちゃん」----- ほりなおこ 作 田中六太 絵（ポプラ社）
遠くの町にすんでいたおじいちゃんといっしょにくらすことになったカイト。年をとったおじいちゃんの
ようすにとまどいながらも、少しずつおじいちゃんとなかよくなっていきます。そしておじいちゃんのために
カイトがとった行 動とは…。

【中学年向け】

「セイギのミカタ」----- 佐藤まどか 作、イシヤマアズサ 絵（フレーベル館）
小学4年生のキノは、はすかしいと顔がまっ赤になるのがなみです。目立ちたくない、ふつうでいたいのに、
アイツがやってきて…。ほんのちょっとした勇気があれば何か変わるかもしれないと思わせる物語です。

「きみの声がききたくて」----- オーエン・コルファー 作、P.J.リンチ 絵、横山和江 訳（文研出版）
心にきずをおい、ほえることが出来なくなった子犬と、父親とはなれ声を出すのをやめた少年。時間をかけて
親友になったふたりは「きみの声がききたい」とねがうようになります。

【高学年向け】

「ギフト、ぼくの場合」----- いまいあきひろ 作（小学館）
ギターを教えてくれたのしい時間をともにすごしていたお父さん。しかし、お父さんとお母さんがりこん
し、生活は一変した。父をにくむあまり、ギターさえも運ばれていたが、コンサートでギターをひくことに。
ギターとともに少年がつかんだものとは…。

「キャンドル」----- 村上雅郁 作（フレーベル館）
小学生時代はまだ幼くて、なんとか許され、認めてもらえるが中学に進学するときっぱり服装からし
てどちらかに分けられてしまう。かれらのアイデンティティは尊重されなければならない。LGBTQをテーマに
した、小学校から中学への進学するときの不安感をあらわした物語。

図書室のポスターや茨城県優良図書のサイトで紹介されていますのでぜひ見てください。